

お鍬山 植物たより (H26. 3. 22)

恒例のお鍬山・豚汁食べまい会が好天気の中、3月22日(土)に開催されました。いつも支援いただいている猿投農林高校や地元企業・内浜化成(株)からの多くの参加に加えて、子供会や老人会の皆さんのお手伝いでいつもは静かなお鍬山も賑やかなとなりました。子供会のシイタケの菌打ち、老人会の皆さんの収穫したシイタケを使つての豚汁の用意、内浜化成提供の甘酒などと楽しいひと時でした。この時期、満開となるシデコブシは、3月の寒さのためか蕾でした。四季桜も元気ありませんでした。植栽のユキヤナギ・アセビなどは例年通り開花しはじめています。



秋に遊歩道を、絨毯を敷き詰めたようにうめていたドングリのいくつかが発芽しています。枯れ葉の中、真っ赤なお雛様みたいなものが目についたら、それがコナラなどの芽生えです。遊歩道沿いに見る事ができます。とがった方からまず芽がでて、その芽が地中に向かって伸びて根になり、しっかり根を張ると双葉が開き始め、その二股に分かれる部分から伸びます。写真は根が出て、殻の中に赤っぽい色の



コナラの発芽

お鍬山には庭木や生垣等に使われている樹木も、葉が落ちていないこの時期は葉だけで判断するのは難しいです。モッコクは枝が



モッコク



シャリンバイ



ネズミモチ

あります。モッコクは枝がギザギザがないのに、シャリンバイは枝の先にまとまって葉がつき、ギザギザがあります。ネズミモチの葉は多くが互いながいのなかでは対の着き方をしています。そんなことを考えながらの散歩も面白いと思いませんか。